

甲佐町議会だより



清 疏

第173号

令和2年(2020)6月1日

発行 甲佐町議会

発行責任者 議長 宮川 安明

3月定例会



3月定例会の審議結果など……………	③～④
令和2年度当初予算……………	⑤
そこが知りたいQ & A……………	⑥～⑦
町民の声……………	⑭

乙女小学校入学式
(令和2年4月9日)

町長の行政報告要旨（定例会初日）

新型コロナウイルス
感染症対策

2月25日、政府において、新型コロナウイルス感染症対策の基本方針が決定され、本町でも、2月27日に開催した甲佐町感染症対策推進会議において各種行事等の中止（延期）などについての基本方針を決定。

感染拡大防止に向けての町での取り組みと住民の皆様への情報提供・注意喚起を引き続き行っていく。

熊本地震及び豪雨災害関係事業の進捗状況

○公共土木災害復旧工事

2月末現在で、225件、93・4%が完了、今年度中に239件、99%が完了する見込み。

未完了となる2件については、令和2年度に完了予定。

○農林業関係

農業用施設及び農地災害については、3月中にすべて完了する見込み。

林道施設災害については、竣工率73・9%。対象7路線のうち林道本坂谷線及び林道倉谷線の2路線については、令和2年度に完了予定。

○仮設住宅

228戸の建設を行い、これまでに269世帯の方が入居されていたが、7月末までにはすべての方の自宅再建が完了される見込み。

○被災者の見守り支援等

震災後から被災者の見守り支援等を実施した地域支え合いセンター事業については、令和2年度中に事業終了見込み。今後は行政、社会福祉協議会、民生委員・児童委員、地域福祉推進員等へのつなぎを重点的に行い、事業終了後も切れ目のない支援を行う。

町営住宅建替事業

上揚団地については、11戸が完成し、令和元年7月から入居開始。

また、令和元年10月から2期工事の3棟8戸に着手し、令和2年5月末頃までには竣工予定。

今後、残りの4棟10戸に着手し、令和2年度には29戸すべてが完了する見込み。早川第一団地建替工事については、今年度実施設計を完了し、造成工事に着手する予定。

県道嘉島甲佐線（田口橋右岸側）平面交差点改良事業の進捗状況

県において、実施測量設計、建物調査が完了し、県道の仮設道路工事と用地交渉が行われている。

仮設道路の工事は今年の5月には完了予定。本線道路改良工事についても今年度中に発注が行われ、令和4年度の工事完了を目指されている。平面交差点改良事業に伴い町道古閑山出線付替

え道路の整備と町が事業主体で行う町道古閑八丁線の道路改良工事の測量設計にも着手した。



田口橋右岸側平面交差完成イメージ

総合運動公園の整備状況

令和2年度については、昨年からの引き続きテニスコートの整備を行うほか、管理棟の建設及び野球場の整備に着手する予定。

その後ソフトボール場及び周辺施設整備を進め令和4年度の事業完了を目指す。

多数の応募をいただき、選定委員会での選考を経て「Kパークこうさ」に決定。

古民家交流拠点施設（旧西村邸）及び井戸江峡交流拠点施設（旧井戸江峡キャンプ場）の整備状況

両施設とも工事は完了し、今月中に竣工検査を行う。また、両施設の運営は、指定管理者での運営を予定しており、本年7月オープンを目指している。



井戸江交流拠点施設

一般廃棄物処理施設の新設整備の進捗状況

昨年11月に測量・調査

業務が完了し、今年1月には、用地取得に向けた住民説明会を実施し、2月から、地権者への個別説明を開始。

他自治体からの派遣職員の受入れについて

震災当初から全国の自治体から短期職員を受入れ、その後、中期派遣として、鹿児島県の6つの自治体、また、県内からは山鹿市及び熊本県土地改良事業団体連合会からもご支援をいただきながら早期の復旧・復興が現在進められていることに感謝している。令和2年度においても鹿児島県の2自治体から4名の職員を引き続き派遣いただけることとなり改めて感謝とお礼を申し上げます。

3月定例会

3月定例会は、3月6日に開会し、10日までの5日間の会期で開催した。

上程された議案は、人事案件2件、その他の同意案件1件、条例案件11件、工事請負契約の変更案件3件、令和元年度一般会計及び各特別会計補正予算、令和2年度一般会計及び各特別会計予算、議員

の議員が予定をしていたが、新型コロナウイルスの感染拡大防止の観点からやむなく中止とした。なお、佐野安春議員から会期の延長及び一般質問を日程に追加する動議が提出されたが、採決の結果、否決（賛成2、反対9）された。予定されていた一般質問の項目は8、9ページ参照

令和2年3月定例会の審議結果

区分	議案名	概要	審議結果
同意第1号	甲佐町副町長の選任に付き同意を求めることについて	詳細は4ページ下段に掲載	同意
同意第2号	甲佐町教育委員会委員の任命に付き同意を求めることについて	詳細は4ページ下段に掲載	同意
同意第3号	給水区域外給水について	甲佐町の水道を御船町からの協議により御船町（1戸）に対し給水を行うもの	同意
議案第1号	情報通信技術の活用による行政手続等に係る関係者の利便性の向上並びに行政運営の簡素化及び効率化を図るための行政手続等における情報通信の技術の利用に関する法律等の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整理に関する条例の制定について	引用する法律の一部改正により、固定資産評価審査委員会条例、行政手続等における情報通信の技術の利用に関する条例並びに行政不服審査関係手数料条例について改正が必要となったもの	可決
議案第2号	職員の服務の宣誓に関する条例の一部を改正する条例の制定について	会計年度任用職員制度開始に伴い、当該職員の宣誓に関し規定を定めたもの	可決
議案第3号	会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例の制定について	会計年度任用職員の給料表について、一般職の給与条例の改定に伴い、本条例の改正を行ったもの	可決
議案第4号	職員の分限の手続及び効果に関する条例の一部を改正する条例の制定について	地方公務員法の改正に伴い、分限処分の手続きについて改正が必要となったもの	可決
議案第5号	甲佐町課設置条例の一部を改正する条例の制定について	各課の事務分掌の見直しとともに、総合保健福祉センターを健康推進課にする条例改正	可決
議案第6号	甲佐町総合保健福祉センターの設置、管理及び使用料に関する条例の一部を改正する条例の制定について	上記「甲佐町課設置条例の一部改正」に伴い、本条例の改正が必要となったもの	可決
議案第7号	甲佐町印鑑の登録及び証明に関する条例の一部を改正する条例の制定について	旧氏での印鑑登録の取扱い等について条例の改正を行ったもの	可決
議案第8号	甲佐町放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について	職員に関する経過措置を平成32年3月31日までを令和5年3月31日に改正	可決
議案第9号	災害弔慰金の支給等に関する条例の一部を改正する条例の制定について	災害弔慰金を支給する遺族についての改正	可決

区分	議 案	概 要	審議結果
議案第10号	甲佐町水道事業の設置に関する条例の一部を改正する条例の制定について	地方自治法の一部改正に伴い、引用する条項の改正	可 決
議案第11号	甲佐町監査委員に関する条例の一部を改正する条例の制定について	地方自治法の一部改正に伴い、引用する条項の改正	可 決
議案第12号	工事請負契約の変更について	井戸江峡キャンプ場整備工事の変更契約(増額)に関する契約締結	可 決
議案第13号	工事請負契約の変更について	町道辻線道路災害復旧工事の変更契約(増額)に関する契約締結	可 決
議案第14号	工事請負契約の変更について	町道西寒野打越線寒野新橋下部工工事の変更契約(増額)に関する契約締結	可 決
議案第15号	財産の無償譲渡について	麻生原地区集会所についての無償譲渡	可 決
議案第16号	甲佐町交流拠点施設指定管理者の指定について	指定管理者に「一般社団法人パレット」を指定するもの	可 決
議案第17号	甲佐町フィットネスセンター指定管理者の指定について	指定管理者に「株式会社くまもと健康支援研究所」を指定するもの	可 決
議案第18号	甲佐町グリーンセンター指定管理者の指定について	指定管理者に「緑川森林組合」を指定するもの	可 決
議案第19号	令和元年度甲佐町一般会計補正予算(第5号)	補正額を5ページに掲載	可 決
議案第20号	令和元年度甲佐町国民健康保険特別会計補正予算(第3号)	〃	可 決
議案第21号	令和元年度甲佐町介護保険特別会計補正予算(第4号)	〃	可 決
議案第22号	令和元年度甲佐町後期高齢者医療特別会計補正予算(第3号)	〃	可 決
議案第23号	令和2年度甲佐町一般会計予算	予算額を5ページに記載	可 決 (反対2)
議案第24号	令和2年度甲佐町国民健康保険特別会計予算	〃	可 決 (反対2)
議案第25号	令和2年度甲佐町介護保険特別会計予算	〃	可 決 (反対2)
議案第26号	令和2年度甲佐町後期高齢者医療特別会計予算	〃	可 決 (反対2)
議案第27号	令和2年度甲佐町水道事業会計予算	〃	可 決
発議第1号	甲佐町議会委員会条例の一部を改正する条例の制定について	「甲佐町課設置条例の一部改正」に伴い、本条例の改正が必要となったもの	可 決

※審議結果の「可決」は全会一致または賛成多数によるものです。

現甲佐町教育委員会委員の井藤光徳氏(上早川3区)が令和2年3月23日で任期満了となることから、宇都育美氏(下横田)を任命することを全会一致で同意した。		甲佐町教育委員会委員に 宇都育美氏
現副町長の師富省三氏(横田)が令和2年4月9日で任期満了となることから、引続き副町長として選任することを全会一致で同意した。		甲佐町副町長に 師富省三氏(再任)

令和2年度 当初予算を可決

114億1445万円

会 計 名		予 算 額	前年比
一 般 会 計		79億3964万円	101.98%
特別会計	国 民 健 康 保 険 事 業	14億9266万円	96.43%
	介 護 保 険 事 業	15億3316万円	101.19%
	後 期 高 齢 者 医 療 事 業	1億6390万円	108.80%
水道事業（公営企業会計） （収益的支出額と資本的支出額の合計）		2億8509万円	72.34%
合 計		114億1445万円	100.19%

（金額は1万円未満を四捨五入しています）

令和元年度 補正予算を可決

1億4175万円減額

会 計 名		補 正 額	補正後の総額
一 般 会 計		△ 5399万円	80億8807万円
特別会計	国 民 健 康 保 険 事 業	△ 6508万円	14億9349万円
	介 護 保 険 事 業	△ 1780万円	15億8780万円
	後 期 高 齢 者 医 療 事 業	△ 488万円	1億4777万円
水道事業（公営企業会計） （収益的支出額と資本的支出額の合計）		—	3億9411万円
合 計		△ 1億4175万円	117億1125万円

（金額は1万円未満を四捨五入しています）

そこが 知りたい

Q & A

3月定例会 質疑から

マイナンバーカードについて

Q

マイナンバーカードの現時点での申請件数は。また、カードにはどのような情報が入るのか。

A

2月末時点での申請件数は1646件。カード情報としては、氏名、生年月日、性別、個人番号になる。今後は保険証の資格情報も入る予定である。

公共交通実態調査について

Q

免許証返納をはじめとした高齢者への交通手段の確保対策が必要と考える。
今年度公共交通実態調査を実施されているが、進捗状況は。

了し現在取りまとめの段階である。

調査内容については、

町民の方々の行動調査や住民ニーズ調査等を実施

しており、調査結果に基づき、公共交通事業者間で今後の公共交通のあり

方について検討を行っていく。

A

公共交通実態調査については、調査は終



役場から宮内・竜野方面に運行している町営バス

お試しふるさとワーキングホリデー事業

Q

新規事業として、お試しふるさとワーキングホリデー事業に100万円予算計上されているが、事業内容は。

A

事業内容としては、県が取り組んでいる事業で、1泊2日から3泊4日程度町内に滞在していただく中で直接地域の暮らしを体験していただき、移住につなげるという事業である。

今回改修した古民家交流拠点施設、旧西村邸を活用し、1泊2日から3泊4日程度甲佐町での暮らしを体験していただきたいと考えている。

防犯灯整備事業



整備5か年計画に基づき整備された防犯灯

Q 防犯灯整備5か年計画は令和2年度が最終年度となっているが、現在までの進捗状況は。また、計画終了後の予定は。

A 平成28年に防犯灯整備5か年計画を策定し、13路線、約14キロの

令和2年度で計画期間が終了することから、その後の対応については、今後検討を行うこととする。

有害鳥獣被害対策事業

Q 有害鳥獣被害防止のため新たな取り組みが必要と考えるが、町の考えは。

A 現在、猟友会や有害鳥獣駆除隊、専門家と意見交換しながら鳥獣

被害防止計画を作成中である。

狩猟免許取得に係る経費助成等についても検討を進めており、令和2年度中には有害鳥獣対策に係る新たな支援制度を確立したいと考えている。



津志田河川自然公園のトイレ改修について



キャンプで賑わう津志田河川自然公園

Q 津志田河川自然公園のトイレが老朽化しているが、改修の予定は。また、津志田河川自然公園を拠点とした様々な展開を考えていることから、よりよい施設整備を目指していきたい。

A 現在、津志田河川自然公園は、キャンプ客で多くの賑わいを見せている。施設内のトイレについては、定期的な清掃等を行っているが、破

新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から中止した3月定例会一般質問

予定されていた7人の議員の一般質問項目

一般質問（届出順）

鳴瀬 美善 議員



土地改良施設が持つ多面的機能の共有と支援策について

①大井手用水を活かした町の振興策について

これまで取り組まれてきた施策やイベントなど、点から線へ、そして面的な広がりのある施策へとつなげてい



大井手用水

く考えは。

②町村河川の補完的機能を担う土地改良施設の維持管理費用について

大井手用水路を始め各土地改良区の財産である幹線用水路については、いずれの施設も町村河川の受け皿としての機能を持つて土地改良区で維持、管理が行われているところである。

近年の豪雨等の状況を見ると、その補完的機能の重要性は極めて大きいと考えることから、町として土地改良区への支援を検討される考えはあるか。

③国の施策である多面的機能支払交付金事業との関連性について

本町においても、多くの地区で支払交付金事業に取り組み、来ていると聞くが、幹線用水路の維持や補修あるいは改修などを目的として、事業実施地区と連携した取り組みはできないのか。

安心・安全なまちづくりについて

①防犯灯の整備状況と計画について

現在、白旗地区の県道や国道443号線など整備がなされて来ているところであるが、これまでの整備の進捗状況や今後の計画について、また、集落内の防犯灯の整備や維持管理費用に係る補助等についてはどのようなようになっているか。

②大井手用水路沿いに設置されたライブカメラの利用状況と今後の整備計画について

町では、平成28年の集中豪雨を契機として、市街地を流れる大井手用水路沿いに出水を監視するためのカメラを設置されたと聞いている。

防災や減災を考える上で非常に期待できるシステムであると思うが、その運用の状況や今後、設置箇所を増やしていく考えはあるか。

甲斐 高士 議員



令和2年度予算編成について

①予算編成基本方針について

現在本町は震災の影響等も重なり非常に厳しい財政状況下にある中で、限られた財源の中で効率的かつ効果的な行財政運営が求められている。どのような政策・施策分野に予算を重点配分されたのか。

②マニフェスト関連予算について

令和2年度予算の中にも、マニフェスト関連事業はどの程度反映されているのか。

交流拠点施設を活用した賑わい創出について

①甲佐町交流拠点施設の賑わい創出に向けた今後の取り組みについて

指定管理者の役割、町の役割についてどのように考えているのか。

②熊本甲佐総合運動公園整備に伴う宿泊施設の整備について

熊本甲佐総合運動公園の整備に伴い、合宿等を視野に入れた宿泊施設の整備が必要と考



古民家交流拠点施設

えるが、町はどのように考えているのか。

高齢者の生きがいづくりにについて

① 高齢者の働く場の創出について

高齢化が進展する本町において、高齢者対策は若い世代の移住定住施策と同様に喫緊の課題と捉え、対策を講じていく必要があると考える。高齢者がいつまでも元気で生きがいのある生活を送ることができる社会環境づくりが急務と考えるが、町はどのように考えているのか。

佐野 安春 議員



鳥獣被害に対する支援策の拡充を

① 鳥獣被害は、営農意欲の減退、耕作放棄・離農の増加等、被害額以上に深刻な影響を及ぼ

している。鳥獣被害に苦しむ町民をできる限り救うため、現在の申請対象3人以上を、1人からでもできるようにすべきである。

男女共同参画計画の具体的な取り組みは進んだのか

① 女性の参画拡大として、各委員会等への女性登用率30%を目標とあるが、進んでいるのか。

② 子育て・介護に関する支援の充実では「義務教育までの医療費助成の継続」が掲げられているが、充実であれば18歳年度末までに出来ないのか。

③ 「職場環境の整備」で



有害鳥獣駆除隊

育児休業・介護休暇の取得はあったのか。

町女性職員の活躍推進に関する特定事業主行動計画の取り組みは進んだのか

① 女性の管理的職員の割合を15%以上にするがあるが、現状はどうか。

② ノー残業デーの取り組み状況と、年休取得の状況はどうか。

③ 育児休業の取得状況はどうか。

④ ジェンダー平等についての町の取り組みはどうか。

宮本 修治 議員



就学援助金について

① 高校・大学進学予定者に対する補助金・貸付金を新設する考えはないか。

本田 新議員



農業振興について

農事組合法人の経営内容と抱える問題について

① 労働力不足、高齢化、資金・収支状況について

② 所有する農機具の拡充及び町支援の要綱改正について

③ 普通作物、野菜、果樹への法人の取組みについて

④ 経営所得安定対策補助金（県産地交付金）への取り組みについて

教育施設について

① 小中学校のトイレの改修計画は怎么样了のか

荒田 博 議員



震災復興計画について

① 令和2年度は復興計画の最終年度であるが、計画の進捗状況は

② 未達成事業実施に向けた予算措置は

井芹しま子 議員



加齢性難聴への支援について

① 加齢性難聴と認知症の関係と予防効果

② 補聴器の普及率

③ 補聴器購入資金の助成を

総合グラウンドと町の活性化について

① 現在の事業の見通しと予算の見直しは

② グラウンド利用者の状況



総合運動公園完成イメージ

④ 今後の運営方針について

船津地区河川防災関連事業について

① 事業内容と今後の工事見通しについて

新型コロナウイルスへの対応について

① 町民の暮らしや雇用等全般の影響調査を

② 町独自の支援策と国・県による支援策の周知は

③ PCR 検査の状況について

④ 感染防止対策について

第10回子ども議会（令和2年2月25日）

中学生、高校生の視点で町執行部へ一般質問



議長・副議長の議 会を終えての感想 （原文）

議長

甲佐高校

寺本 拓生（2年）

過日はご多用中にもかかわらず貴重な体験をさせていただき、誠にありがとうございました。議会の参加は初めてでしたので、とても緊張し、間違えることもありましたが、どの質問に対してとても丁寧な回答を下さったので、とても安心でき、また大変勉強になりました。

今回甲佐町子ども議会に参加すると聞き、たくさんの視点から甲佐町を観る機会になりました。また、甲佐町にはどのような魅力があるかなど改めて考え直すきっかけになりました。

質問を考えていると、

甲佐町が甲佐高校へたくさんの方の支援をして下さっていることに気づくことができました。さらに、甲佐高校を活気づけるために、中学生や保護者にとって行きたい学校になるよう、計画し実行されているということも分かり、甲佐高校生としてとても嬉しかったです。答弁の中で、甲佐高校生に求めることとして「日々の学習、夢の実現に取り組んでほしい」という答えがあり、私たちも甲佐町を活性化させるために貢献することができると感じました。最後にありますが、このような貴重な体験をさせていただき、誠にありがとうございました。今後、甲佐町の皆様のご指導をいただき、よりよい町になるよう甲佐高校

生も頑張りたいと思いますので、よろしく願いいたします。

副議長

甲佐中学校

北 ころこ（2年1組）

私は今回「第10回甲佐町子ども議会」に生徒会役員として甲佐高校の代表の人たちと一緒に参加させていただきました。私は議長をしました。子ども議会に参加してみても印象に残ったことは二つあります。

一つ目は、議場の雰囲気です。初めて議場に入った時、今まで感じたことのない雰囲気でした。緊張感が増して、すぐドキドキしました。

二つ目は、質問です。

高校生の質問はさすが高校生という質問でしたが、役場の各課長さんや所長さん、町長さんたちは原稿はあるかもしれないけど議員の人たちが聞きたかった質問にいてねいにそしてちゃんと考えてくれました。大人のお手本だと思いました。

今回の子ども議会ができたのは、先生や役場の方々のおかげだと思います。かわってくれた人たちに感謝できるようにこれから甲佐町に貢献していきたいと思っています。

また、議長も楽しくいい経験になったけど議会中、質問を聞いているうちに私も質問したいという思いがこみあげてきました。来年もまた子ども議会があれば、良い質問をしてほしいです。

一般質問（中学生）

総合運動公園を、気軽に中学生が利用できる施設に

内村 朱里（2年3組）

安津橋総合運動公園が整備されていて完成するのをとても楽しみにしています。中学生が気軽に利用できる施設になることを望んでいます。中学生はどのようにしたら利用できますか。また、補助などがありますか。

吉岡社会教育課長

中学生の利用等については様々なケースが想定されますので、状況を踏まえ、小中学生が利用しやすいよう減免に関する規定などを整備していきたいと考えております。

人口増加に貢献したい

本田 愛佳（2年3組）

地方では少子化による人口の減少や過疎化が課題となっていますが、今後人口が減少していった場合、保育園や小学校、中学校は統廃合されるような可能性はありますか。人口増加に貢献したいという気持ちがあります。甲佐町の住みやすさについて、中学生でも理解できるところで教えていただけますか。

奥名町長

保育園については、全て民間（社会福祉法人）が設立・運営されており、町の施設ではないため、統廃合の対象とはなりません。

甲佐高校生徒も議員として参加

平成21年から始まった子ども議会、第10回目となる今回は、甲佐中学校生徒に加え、甲佐高校生徒も議員として参加し、前半を議長、後半を副議長の議事進行のもと、若者の視点で町執行部に対し質問を行った。

せん。

中学校については、1校だけではので廃校ということにはなりません、小学校4校についても現在のところ存続していく計画としています。

住みやすさについては、熊本市など熊本市圏が通勤・通学圏内であり、通院や買い物などにも特に困らないような場所がありながら、のどかな田舎の暮らしができ、都市部に比べ治安がよいところなどがあげられます。今後も、若い方たちが安心して仕事・子育てなどができる環境づくりに取り組んで行きたいと考えています。

宿泊施設を建設される予定は

坂本すみれ（2年2組）

安津橋総合運動公園が完成すれば、各種目の大会や様々な団体の合宿などに活用してもらえ、機会が増えると思います。そこで宿泊施設があれば、飲食店や弁当屋など甲佐

町にお金を使ってもらうことにつながると思いますが、甲佐町に、合宿などで利用できる宿泊施設を建設される予定はあるのでしょうか。

北畑地域振興課長

現在のところ合宿などで利用できる宿泊施設の建設計画はありませんが、宿泊施設が充実していれば、町の活性化にもつながると考えられ、行政のみならず民間の方々と取り組みが必要があると思います。

宿泊施設の建設については、採算の見込みがあることが前提であることから、町において、まず交流人口を増やす取り組みを進めていくことが必要であると考えております。

防犯灯など設置予定は

高崎 蒼真（2年2組）

「防犯灯整備5か年計画」が策定されているとお聞きしていますが、今年度と来年度の街灯設置の場所を教えてください。

ますか。また、中学生が用水路などに落下する事例があります。用水路への転落防止のためのフェンスやガードレールの設置がされると、とても助かるのですが、今後、設置が予定されている箇所はありますか。

佐々木くらし安全室長

「防犯灯整備5か年計画」で、国道や県道など主要道路を中心に13路線、約14キロメートルに設置を予定しており、令和2年度までに341基を目標に進めております。今年度は甲佐、竜野、白旗、乙女の各地区に合計140基を設置予定です。また、来年度につきましては、甲佐地区（西寒野ほか）を予定しております。

荒田学校教育課長

甲佐町通学路安全推進会議で、用水路への転落防止のためのフェンスやガードレールの設置の件も検討しているところで、今関係課と設置に向けて協議を行っているところ

です。

防災・安全について

垣田 陽南（2年2組）

「洪水ハザードマップ」が作成されていることを、町のホームページで確認しました。今後、これを各家庭にどう広めていくかと考えられていますか。中学生にもできることが何かあれば教えていただけますか。また、地震の「危険度マップ」と「揺れやすさマップ」は、中学校にも掲示されていますか。これに加えて、「避難所マップ」もあると、いざというときに役に立つと思いますが、作成の予定はありますか。

志戸岡建設課長

今回作成します総合防災マップは、浸水想定区域図、土砂災害危険区域、地震危険度マップ、液化危険度分布図や、避難場所、防災情報、防災対策などの情報を掲載した総合防災マップとなります。全世帯と各学校にも

配布しますので、自分が住んでいる場所や学校周辺がどうなるかを確認していただきたいと思います。

災害はいつどこで起きるかわかりませんので、学校や家で起きた時、「どのような行動をとるか」「どこに避難するか」などを学校や家族で話し合ってみてください。事前に準備をして、災害について日頃から考えておくことが減災につながります。

ふるさと納税について

菊地 こころ（1年2組）

甲佐町にもふるさと納税があることをホームページで見ましたが、町としてアピールをどのようにして、その効果はあがっているのでしょうか。今後納税額を増やすためにどのような施策を考えているのですか。

北畑地域振興課長

平成29年度からは広く本町の魅力、取組を情報

発信するため、ふるさと納税に関するポータルサイトをこれまでの1サイトから2サイトに、令和元年からは3サイトに広く情報の発信を行っており、平成28年度以前に比べ寄付額も増加しております。

本町の魅力やまちづくりへの取組、ふるさと納税に対する考え方についての広く情報発信していくことが必要だと考えおり、また、魅力ある返礼品の充実を図ることが必要と考えております。

若者の投票率を上げるための施策は

坂口 莉奈（1年2組）

年齢が引き下げられたことで、私たち中学生も選挙を身近に感じられるようになりましたが、まだ関心が低い人も多いため、現状だと思っています。今後、若い世代の投票率を上げるためにどのような施策を考えられていますか。

一圓総務課長

昨年7月に行われました参議院議員通常選挙、本町の若い世代である10代から30代の平均は30%程度となっておりほかの年代に比べ低い水準にあります。

今後も引き続き、投票率アップに向け、PRの強化に努めてまいりたいと考えておりますが、若い世代の皆様には、今まで以上に一人ひとりが政治に関心を持ってもらい、自分の意見や思いを投票に託してもらいたいと思います。

一般質問（高校生）

甲佐高校への支援策について

上田 雅昭（2年）

甲佐町による公営塾を運営していただき、多様な学習機会を提供して下さっていることに感謝いたします。

第6次甲佐町総合計画（後期）の入学者目標を実現するための方策をど

う考えているか教えてくだされ。他市町村の取り組みなどを踏まえ、有効だと考えている手立てはありますか。また、町として甲佐高校に求めることはどのようなことか、教えてください。

蔵田教育長

県内他地域の高校に対する支援としては入学者への準備金や入学一時金の交付などにより志願者が一時的に増加し、その次年度には志願者が再び減少した例もあります。

甲佐町の支援の在り方としては、学校の教育力への魅力づくりを支援することが、持続的で安定的な入学者増に繋がるという考えの下、甲佐高校への支援を行っています。その具体的取組として、甲佐高校内に甲佐町公営塾「あゆみ学舎」を設置し、一人一人の個別のサポートをすることにより、塾生が魅力ある進路を達成することが、入学志望者の持続的増加につながることを期待しています。

甲佐高校の生徒の皆さんには、高い理想としっかりとした未来への夢と展望を持って日々の学習に取り組んで頂き、自らの進路希望を叶え、明るく素晴らし未来を切り拓いてほしいと願っています。

ゴミの分別について

坂口 真歩（2年）

地域の祭りの後、あちこちにゴミが散乱している様子を見て、甲佐町のゴミへの取り組みについて関心を持ちました。7月には環境負荷の高いレジ袋の有料化が始まり、地球規模の課題となっている廃プラ対策が進められています。現在、世界国、地域でゴミ削減や環境を守る取り組みを進めています。甲佐町では、脱プラスチックの対策やゴミの分別の方法について、有効な手立てを検討されているのか教えてください。

橋本環境衛生課長

分別収集の品目や収集方法については、御船甲佐クリーンセンター及び御船町トリサイクル率が上がるよう定期的に話し合っていますが、プラスチック製容器包装の品目増については、再資源化に要する費用が高額なため導入には至っていません。

物を大切に使いごみを減らす「リデュース」、使えるものは繰り返し使う「リユース」、ごみを資源として再び利用する「リサイクル」の3R（スリーアール）に取り組むことで、ごみの焼却や埋立処分による環境への悪影響を減らし、限りある資源を有効に繰り返し使う社会をつくっていく、そういう施策を推進していかなければならないと考えているところです。

交通安全、街灯の設置など、町の安全対策について

奥村 稜祐（1年）

高校へ通う通学路で、地震後の整備が不十分だったり、街灯がなく夜間の視界が悪かったり、カーブミラーがないために危険な思いをする場所がいくつもあります。町では、小中高生の通学路の危険箇所を把握しているのですか、しているとすれば、その対策をどのように考えておられるのか教えてください。また、高校生が、防犯面、安全面で危険な箇所があり改善してほしいことを町に伝えるにはどのようなしたらいいか教えてください。

荒田学校教育課長

甲佐町通学路安全推進会議にて、合同点検を実施して、危険箇所等の確認や改善策について協議を行い、対応にあたっています。

ただ、高校生の通学路

については、町としては把握していないために、危険箇所も把握できていない現状です。

通学の際に危険と感じる箇所があった場合は、学校を通じて、学校教育課に連絡していただきますと、甲佐町通学路安全推進会議等で、関係機関に伝えることができますし、改善に向けて協議ができるものと考えています。

ふるさとの河川を美しく維持することについて

野口 和希（1年）

地域の方の話を聞くと、昔と比べて緑川の水はきれいじゃなくなった、鮎が捕れなくなった、という話を聞きます。緑川は甲佐町の一つの目玉だと思いますが、緑川の環境を維持するためにどのようなことをされているのか教えてください。また、魚釣りに行くとき外来種を捕まえることがあります。緑川に生息する外来

種の種類と、生態系を守るための取り組みについても教えてください。

橋本環境衛生課長

生活排水が汚れの大きな原因であると考えられ、本町では生活排水の処理を進めるため小型合併処理浄化槽の普及促進に力を入れていきます。平成30年度末時点で63・7%の生活排水処理率を令和5年度末までに75%に上げるべく設置に対する補助制度の充実を図るなどの取り組みを行っているところです。

井上農政課長

緑川に生息する外来動物については、緑川漁業協同組合において、在来種に害を及ぼすと思われるブラックバス、ブルーギル、テラピア、ミシシッピーアカミミガメ（いわゆるミドリガメ）等の捕獲を緑川水系全域で行ってられます。

また、河川敷等に生息する外来植物のオウキンケイギクについては、河

川管理者である国土交通省で除去などの対応を行ってられます。

新型コロナウイルス感染症への対策について

中村 友紀（1年）

中国武漢市に端を発した新型コロナウイルス感染症が世界的に広がっています。グローバル化が進む中、甲佐町で感染者が出て不思議ではない状況にあると考えます。

また、中国出身の児童生徒が、学校で差別的なことを言われる例も出ています。そこで、甲佐町では新型の感染症が流行した場合、どのような予防策や対応策をとっておられるのか、また差別が起らないようにするためには、どのようなことが必要だと考えておられるか、教えてください。

奥村総合保健福祉センター所長

今後流行した場合にお

いては、町対策本部を設置し、行動計画に基づき、対策を行って参ります。

公共施設の使用中止や不特定多数の町民が集まる町主催のイベントや行事等を延期や中止したりし、予防やまん延防止に努めます。また、広報誌や町HP等を通じ、新型コロナウイルスに対する偏見やデマが起らないように啓発を行います。

ジェンダーギャップ・LGBTについて

山下 麻鈴（1年）

ジェンダーギャップ指数によると日本は153カ国中121位、先進国中最下位という結果が出ています。甲佐町の議会を傍聴した時も、議員の方も役場の方も男性が圧倒的に多いという印象を受け、女性の意見がきちんと反映されているのか気になりました。甲佐高校では来年度から制服が刷新されますが、女子も

スラックスを着ることができるようになるなど、徐々にジェンダー平等を進めています。国連が推奨しているSDGSの中に「ジェンダー平等を実現しよう」という目標がありますが、甲佐町では教育面、行政面でのような取り組みをされているのか知りたいです。

また、LGBTの方々に対象にしたパートナーシップ制度など、セクシャルマイノリティーの方々が住みやすい町づくりにするための方策を導入される予定があれば教えてください。

中林町民センター所長

「ジェンダーギャップ」については、3月7日に甲佐町人権教育講演会を計画しています。そこで「女性が安心安全に暮らせる社会のために、女性の人権について考えよう」と題して講演会を開催し、啓発活動に取り組み予定です。また、昨年12月の甲佐町人権週間期間中に開催しました

町民集会で「性的マイノリティの問題は人権の問題です」という演題で講演会を開催し町民の方たちに啓発を行ったところです。

甲佐町の観光や産業の振興策

井藤 慎（2年）

熊本甲佐総合運動公園の整備が進められており、甲佐高生もスポーツをする機会が増えることを期待しています。そこで、町外から来た利用者が宿泊できる施設が充実していると、部活動の合宿等にも活用出来、より経済効果が見込めると考えますが、今後、甲佐町に宿泊施設を作る予定はあるか教えてください。また、たくさん観光客を呼び込むために、甲佐高生が貢献できることがあれば教えてください。

の定住人口の増加に繋がっていきたいという思いで各種施策に取り組んでいくところです。

これらの取り組みによって、如何に町の産業・経済の面でも効果をもたらすかということが次の課題となってくると考えており、「宿泊施設の充実」に関しては、町の状況、考え方については先ほど、地域振興課長から答弁したとおりです。

甲佐高生が貢献できることについては、町のイベントなど活性化に向けた取り組みに積極的に参加していただき、高校生の視点でご意見をいただければ有難いと思っています。

また、高校生の目線で、甲佐町のお気に入りのスポットや魅力などの情報を発信していただくと、若い年齢層の来町者も増えるのではないかと期待しています。

師富副町長

町では交流人口、関係人口を増やし、甲佐町へ

「コロナ」とこれからについて

横田区 和田 友子

「コロナ」はどこまで続くのか？

今、日本中いや世界中が恐怖にさらされています。幸いわが甲佐町には感染は及んでいないようです。

しかし、毎日テレビで「新たに何人感染した」、人気コメディアン「志村けんさんがコロナで亡くなった」と聞くと「明日は我が身か？」と不安は広がるばかりです。

四年前の天地を揺るがす熊本地震の恐怖も薄れ、崩れかけた石垣もやっときれいに修復してもらえました。しかし、今でも毎日のように地震発生が報道され心配は絶えません。

周りを見れば、桜、菜の花、チューリップ、小鳥の鳴き声と平穏そのものに季節は移っています。

この地を、空を、海を汚し、欲望のままに走り続けてきた人間に、「コロナ」は地球からの警鐘ではないかと思えてきます。

私は広島県で戦時中に生まれましたが、原爆の黒い雨は爆心地から遠く離れた山間のわが村にも降ったと聞きました。父は戦艦大和で戦死しています。

今こそ、核兵器をはじめ膨大な武器を捨て、途方もない欲望を捨て、平和に穏やかに生きていけないものなのか。私一人の力は小さいけれど、残り少ない人生を子や孫たちが安心して生きるために何か一つでも役立つことをしたいと夢見るこの頃です。

3月6日全員協議会協議項目

①道路整備計画について

道路整備計画5カ年計画（令和2年から令和6年）の策定

②国土強靱化地域計画について

国土強靱化基本法に基づく地域計画の策定

③まち・ひと・しごと甲佐町総合戦略（延長版）について

現計画（平成27年度から令和元年度）を令和2年度まで延長

④新型コロナウイルス感染症への対応について

甲佐町における新型コロナウイルス感染症対策の基本方針及び対応状況

⑤監査基準について

地方自治法の一部改正により、監査基準の設定・公表の義務化

町民の皆様の議会傍聴をお待ちしています。お気軽にお越しください。

※令和2年第2回（6月）定例会は、6月12日開会の予定です。

編集後記

三月定例会において、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、議員・執行部へのマスク着用が義務付けられ、又、傍聴される方へのマスク着用、アルコール消毒の利用が推奨された。日程はというと、政策に取り組み政策に生きるべき議員にとって、住民からも重大な関心と期待を持たれる一般質問を行わず、三同意、二十三議案が承認された。

自然災害は勿論今回のような感染症など、対応が絶対に遅れないよう、議員も町へ強く意見し、住民の方々の生命財産を守るべく安心安全な町づくりに貢献していきたい。（森田精子）

議会広報編集特別委員会

委員長 甲斐高士
副委員長 宮本修治
委員 佐野安春
委員 森田精子
委員 鳴瀬美善
委員 田中孝義
委員 甲斐良二

